

地域スローガン&シンボルマーク決定 地域の心と力を一つに

1月16日に熊本県民体育祭宇城地域大会のスローガンとシンボルマークが決定。31日には、その表彰式が行われました。

スローガンの部に90点、シンボルマークの部に57点の作品が寄せられ、第62回の実行委員会会長である阿曾田清市長をはじめ、2市3町の教育関係者8人で結成された選考委員会が厳正に審査。スローガンの部で佐伯幸之輔さん（松橋町）、シンボルマークの部で落合保奈実さん（城南町）の作品が最優秀賞に選ばれました。このほか、優秀作品としてそれぞれ4点が表彰されました。

★スローガンの部 【最優秀作品】

絆を深め未来へつなぐ宇城県体
佐伯幸之輔 君（松橋町）

考えた理由

スポーツを通して人と人とのつながりを大事にし、さまざまな分野で交流を深め、宇城市の自然・産業・教育などの未来へつないでほしいという願い。



★シンボルマークの部 【最優秀作品】

落合保奈実さん（城南町）

考えた理由

宇城のアルファベットで人の動きと、それを支える自然をイメージしました。
赤は情熱、緑は木々、青は水をあらわしています。

【優秀作品】

うき・宇城・心ときめく 宇城県体 江河 一郎さん（宇土市）
人 燃えて 不知火燃ゆる 宇城県体 蔵田 剛さん（松橋町）
青い海 大地にあふれる緑と笑顔 宇城県体 豊田 慎悟 君（城南町）
手をつなぎ 心をつなぎ 汗水光る 宇城県体 西 隆宏 君（城南町）

【優秀作品】

田村 栄子さん（城南町）
寺田智恵美さん（宇土市）
藤田あかねさん（小川町）
遠山 百合さん（美里町）

第17回全九州小学生選抜男女ソフトボール大会 三角小ソフト部の圧勝！

昨年、熊本県予選会が行われ三角小ソフトボールクラブが出場しました。

三角小は初戦から快勝を続け、決勝戦も3-0で豊田小（城南町）を倒し、見事、優勝を果しました。これにより、3月24日から宮崎市で開催される九州大会への出場権を手に入れました。九州大会でも優勝目指して頑張ってください。



優勝した三角小ソフトボールクラブのメンバー

有志により登山道整備の進む日岳山



環境保全を目指して 日岳の里山づくり

小川町日岳地区に鎮座する標高約243mの日岳山。山頂からは小川町や不知火海が一望できるふるさとのシンボリック存在です。しかし、日岳地区からの登山道は、長年の風雨や台風などにより風倒木や荒れ地が目立っていました。

そこで、昨年8月から地元住民が中心となり「子どもから大人まで幅広く自然に触れてもらい、自然を守り育てよう」とNPO法人宇城市環境保全隊と協働して日岳登山道の整備を開始。美しい里山づくりに市民の意識と期待が高まっています。



2位でゴールするアンカーの河村美佑紀さん

■本市からの出場選手（敬称略）

☆印は区間賞

【郡市対抗女子駅伝】

- 1区 志水 彩（松橋中1年）
- 2区 井 千尋（松橋中3年）
- 3区 宮崎公美子（松橋高1年）
- 4区 秋岡 汐吏（松橋高2年）
- 5区 蓮池 杏奈（有明高3年）
- 6区 岡村由布子（熊本農高3年）
- ☆ 7区 河村美佑紀（ルーテル学院高2年）

【郡市対抗駅伝】

- 1区 中村 優志（松橋中1年）
- 2区 渡邊 力将（国府高1年）
- 3区 蓮池 龍頭（国府高2年）
- 4区 谷川 智浩（熊本工高3年）
- 5区 赤星 貴晃（豊野中2年）
- 6区 三池 浩介（自衛隊）
- 7区 宮崎 祐行（合志技研工業）
- 8区 川島慎太郎（九州学院高2年）
- 9区 藤山 健司（国府高3年）
- 10区 古閑森勇馬（城南金属工業）
- 11区 札元 貴大（松橋中3年）
- ☆ 12区 斎藤 友章（会社員）
- 13区 鶴田 真大（三角中3年）
- 14区 森下 隆司（鮮ど市場）

郡市対抗駅伝 今年も宇城市は大活躍 男女共に2位獲得！

1月28日、第24回熊日郡市対抗女子駅伝が開催されました。2連覇を目指す宇城市は終始トップを走った熊本市にあと一歩及ばず、2位に終わりました。タイムは昨年を17秒上回る1時間40分51秒。

熊本市上通町のびぶれす熊日会館前をスタート・ゴールとし、上益城郡益城町下小谷を折り返す7区間、30kmのコースに18郡市が出場しました。

1区・志水彩選手で4位と好スタートを切った宇城市は、2区・井千尋選手が2人抜きで2位に浮上。続く3区、4区と順位をキープし、5区・蓮池杏奈選手がトップと10秒差まで詰め寄りました。しかし、6区で差を広げられると、アンカーの河村美佑紀選手が区間賞の走りで熊本市を追い上げましたが、ついにとらえることはできず、2位でゴールしました。

2月11日には第33回郡市対抗熊日駅伝が開催され、本渡市役所前をスタート、びぶれす熊日会館前をゴールとする14区間、105.3kmのコースに19の郡市チームが出場しました。

宇城市は1区8位、2区5位と好スタートをきり、その後もトップ集団に食い込み、抜きつ抜かれつの大激戦を展開。トップに今一歩及ばず2位となりましたが、タイムは大会新記録の5時間22分36秒と素晴らしい成果を残しました。

今大会、メンバーの故障、体調不良が相次ぎ、本来の力を十分に発揮できませんでしたが、それでも男女共に準優勝。来年はアベック優勝が期待されます。



「後は任せた！」「はい！」



スタート直後、先頭を走る宇城市チーム